



## 平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファイブ株式会社  
 コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 英理也  
 (氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	462	4.7	1	—	0	—	△0	—
24年5月期第2四半期	441	—	△18	—	△12	—	△17	—

(注) 包括利益 25年5月期第2四半期 1百万円 (—%) 24年5月期第2四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	△80.87	—
24年5月期第2四半期	△4,142.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	371	249	67.1	58,776.23
24年5月期	368	247	67.1	58,424.07

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 249百万円 24年5月期 247百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	952	3.7	4	—	4	—	2	—	471.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	4,468 株	24年5月期	4,468 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	230 株	24年5月期	230 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	4,238 株	24年5月期2Q	4,238 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、復興関連需要等があるものの、個人消費の低迷、円の高止まりや欧州諸国を発端とする海外経済減速の影響から、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス業界は、スマートフォン・スマートデバイスの急速な普及、ソーシャルメディア利用者の拡大に伴うインターネットビジネスについては盛り上がりを見せているものの、景気の低迷を背景に、企業のIT関連投資に対しては抑制傾向が続いており、顧客の獲得競争は一段と激しさを増しております。

このような環境の中、ソリューション事業B to Bソリューショングループは、主要な取引企業を中心にITエンジニアの稼働率が向上したことにより売上高が増加いたしました。特に、多くの業種においてJava言語を習得したシステムエンジニア・プログラムの需要が高まっております。また、ソリューション事業B to Cソリューショングループは、ソフトウェアの受託開発とそれに附随するサービスを体系化することで営業の効率化を図り、労務費を始めとした販売費及び一般管理費の削減を行い収支が改善いたしました。スクール事業は、平成24年7月31日をもってITプロ育成スクールの統廃合を行いました。当社において九州・福岡の若者を中心に当社独自のITエンジニア育成研修を継続しておりITエンジニア数が増加傾向にあります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高462,780千円（前年同四半期は441,901千円）、売上総利益161,792千円（同151,656千円）、営業利益1,095千円（前年同四半期は営業損失18,422千円）、経常利益786千円（前年同四半期は経常損失12,242千円）、四半期純損失342千円（前年同四半期は17,554千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

#### ①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループにおいては、稼働者数128名からスタートし、当第2四半期連結累計期間末においては稼働者数が132名となりました。引き続き主要な取引企業を中心にITエンジニアの需要が好転していることに加え、高スキルのITエンジニアを中心に一人月当たりの平均単価も上昇したことにより売上高が増加いたしました。しかしながら、ITエンジニアの定着のために労務費を増加させたことに加え、新たなITエンジニアの採用費が増加しております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は393,156千円（前年同四半期は364,046千円）、セグメント利益は88,835千円（同92,084千円）となりました。

#### ②ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループにおいては、既存取引先の受託開発案件は、総じて適正にプロジェクト運営ができました。新規の受託開発案件の受注に関しては、開発力とサービス力を前面に出し提案力を強化いたしました。また、効率化による営業工数の削減と受注案件の増加に伴うITエンジニアの稼働率の向上により販売費及び一般管理費を削減し、セグメント利益を黒字化することができました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は24,819千円（同30,080千円）、セグメント利益は216千円（前年同四半期はセグメント損失19,845千円）となりました。

#### ③スクール事業

スクール事業においては、ITプロ育成スクールにおける緊急人材育成支援事業訓練を平成24年7月に終了し、本格的に当社独自のITエンジニア育成研修に力を注ぎました。人材育成コストになりますが、ITエンジニア増加の施策として各事業で活躍できる人材の育成に取り組んでまいります。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,450千円（前年同四半期は19,169千円）、セグメント損失は8,316千円（同11,287千円）となりました。

#### ④工事関連事業

工事関連事業においては、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に安定的に受注できております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は44,262千円（同28,679千円）、セグメント利益は3,443千円（前年同四半期はセグメント損失1,818千円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は371,483千円（前連結会計年度末は368,881千円）、うち流動資産302,672千円（同287,188千円）、固定資産68,810千円（同81,693千円）となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金172,787千円(同161,509千円)、売掛金107,071千円(同99,851千円)等であり、固定資産については有形固定資産15,207千円(同18,604千円)、無形固定資産6,665千円(同6,045千円)、敷金及び保証金26,058千円(同41,811千円)等であり、

(負債)

負債合計は122,390千円(同121,280千円)、うち流動負債は104,248千円(同110,259千円)、固定負債は18,142千円(同11,021千円)となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金5,742千円(同10,731千円)、1年以内返済予定の長期借入金16,668千円(同10,308千円)、未払費用41,346千円(同38,712千円)等であり、固定負債については長期借入金16,918千円(同10,802千円)等であり、

(純資産)

純資産合計は249,093千円(同247,601千円)、うち株主資本241,417千円(同241,760千円)、その他の包括利益累計額7,675千円(同5,840千円)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年7月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	161,509	172,787
売掛金	99,851	107,071
商品及び製品	6,500	6,500
仕掛品	7,697	9,630
原材料及び貯蔵品	519	578
繰延税金資産	39	72
その他	11,546	6,504
貸倒引当金	△475	△471
流動資産合計	287,188	302,672
固定資産		
有形固定資産	18,604	15,207
無形固定資産	6,045	6,665
投資その他の資産		
敷金及び保証金	41,811	26,058
その他	15,233	20,879
投資その他の資産合計	57,044	46,937
固定資産合計	81,693	68,810
資産合計	368,881	371,483
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,731	5,742
1年内返済予定の長期借入金	10,308	16,668
未払費用	38,712	41,346
未払法人税等	2,415	2,613
未払消費税等	11,377	8,976
繰延税金負債	349	—
その他	36,365	28,900
流動負債合計	110,259	104,248
固定負債		
長期借入金	10,802	16,918
繰延税金負債	219	1,224
固定負債合計	11,021	18,142
負債合計	121,280	122,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	175,825	175,825
資本剰余金	141,525	141,525
利益剰余金	△66,766	△67,109
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	241,760	241,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,840	7,675
その他の包括利益累計額合計	5,840	7,675
純資産合計	247,601	249,093
負債純資産合計	368,881	371,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	441,901	462,780
売上原価	290,245	300,988
売上総利益	151,656	161,792
販売費及び一般管理費	170,079	160,696
営業利益又は営業損失(△)	△18,422	1,095
営業外収益		
受取利息	4	4
助成金収入	6,126	—
雑収入	415	5
営業外収益合計	6,547	9
営業外費用		
支払利息	277	277
雑損失	89	41
営業外費用合計	366	318
経常利益又は経常損失(△)	△12,242	786
特別利益		
負ののれん発生益	533	—
特別利益合計	533	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5,440	—
固定資産除却損	—	25
特別損失合計	5,440	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,148	761
法人税、住民税及び事業税	488	1,486
法人税等調整額	△82	△382
法人税等合計	405	1,103
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,554	△342
四半期純損失(△)	△17,554	△342

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,554	△342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,835
その他の包括利益合計	—	1,835
四半期包括利益	△17,554	1,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,554	1,492
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。